

OSAKA INTERNATIONAL
PEACE
CENTER

これは大阪国際平和センターのシンボル・マークです。外周の楕円形が、宇宙空間。中央の正円形が地球を示しています。



ピースおおさか OSAKA INTERNATIONAL PEACE CENTER
いろんな形の屋根、それは平和とは、多様なものが相互に認め合って同時に存在し得る世界であることを表現しています。

ピースおおさか
大阪国際平和センター

設置理念

第二次世界大戦において、大阪では50回をこえる空襲により、市街地の主要部が廃墟と化しました。こうした被害は大阪にとどまりません。世界最初の核の被爆都市、広島・長崎、「本土決戦」の犠牲となった沖縄をはじめとして、数多くの日本国民が尊い生命を失い、傷つき、病に倒れました。同時に、1945（昭和20）年8月15日に至る15年戦争において、戦場となった中国をはじめアジア・太平洋地域の人々、また植民地下の朝鮮・台湾の人々にも多大な危害を与えたことを、私たちは忘れません。

人類共通の願いである恒久平和は、戦争の惨禍を知る世界中のあらゆる地域の人々が、それぞれの体験を伝えあい、語り続けることによって達成されます。そして国内外の各都市・各地域で広がりつつある戦争関係資料の収集、戦争体験の継承への取り組みも、次第に高まっています。当センターも、大阪における戦争被害者にたいする追悼の場であるとともに、平和に向けての新たな地域的な取り組みを意図したものです。

今日の世界は、なお多くの戦争の危機をはらんでいます。それらが局地的紛争から世界的規模での戦争に拡大する危険性は決して少なくありません。軍事技術の発達と人類を絶滅させるに十分な核軍備の存在は、それらが使用された場合には、かつての世界戦争の惨禍を超える被害をもたらします。戦争の惨害から将来の世代を守るために、人々が善き隣人として互いに平和に生活するために、私たちは力を合わせなければなりません。

平和と安全への侵害は、現在も様々な形をとりながら世界の各地で続いています。人権抑圧や環境破壊、貧困や飢餓などもまた、人類共同体の安全にとっての大きな脅威です。それだけに、平和と安全に向けての私たちの取り組みの範囲も、ますます広がりつつあります。大阪府民・市民と国内外の人々との間の相互交流を深めることを通じて、大阪が世界の平和と繁栄に積極的に貢献するために、ここに大阪国際平和センターを設置するものであります。

1991（平成3）年9月17日

展示室A 大阪空襲と人々の生活



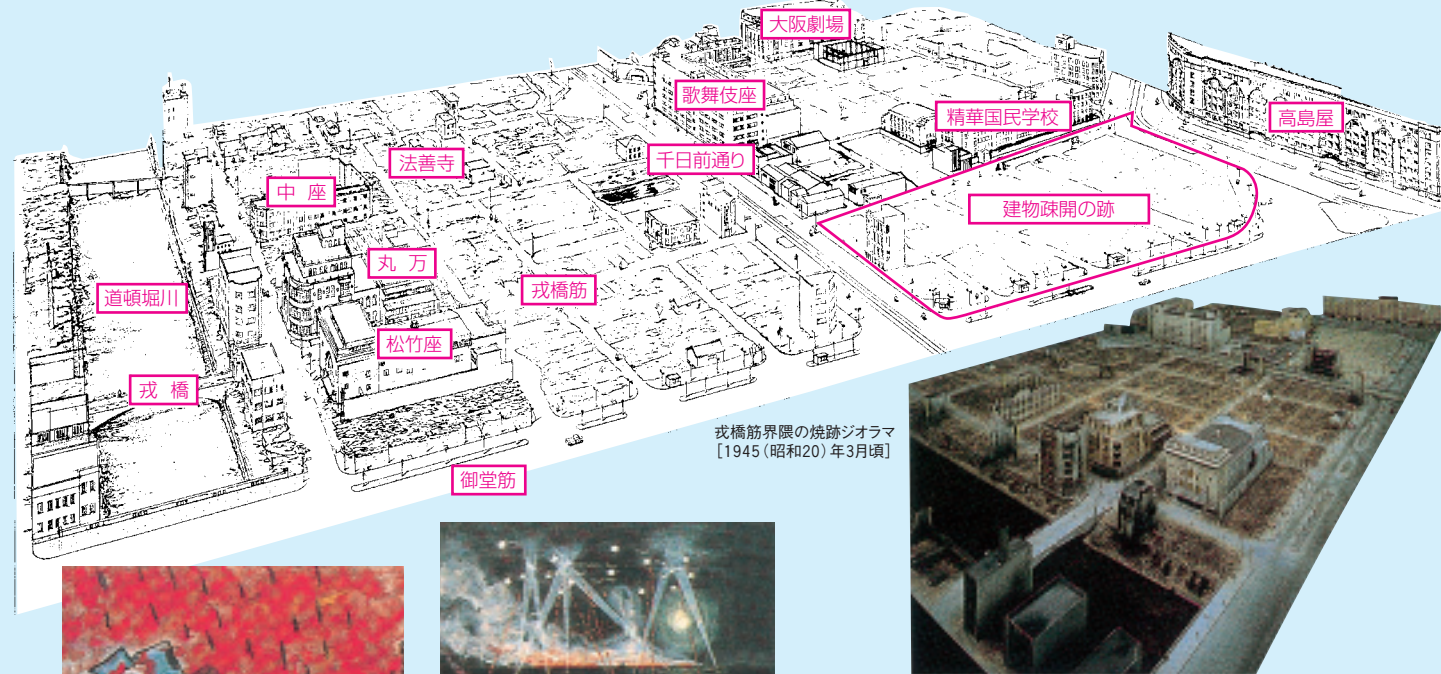
1トン爆弾（複製模型）

“大阪が見た戦争”についての展示を行い、大阪の戦争体験を伝えます。

50回以上におよぶ大阪空襲の実態を明らかにするとともに、戦時下の生活の具体的な再現を通して、国内における戦争の悲惨さを実感できるようにしています。



大阪陸軍造兵廠のレンガ壁の弾痕



戎橋筋界隈の焼跡ジオラマ [1945（昭和20）年3月頃]



火焔のなかを逃げまどう人々たち



枚岡から見た大阪空襲 [1945（昭和20）年3月14日]



「出征」兵士の家に貼られたプレート



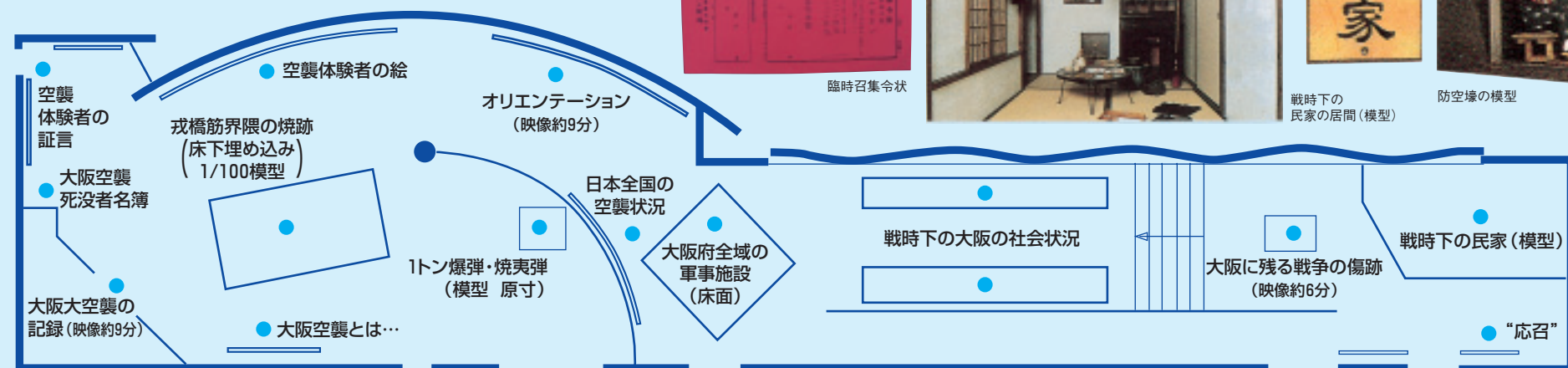
臨時召集令状



戦時下の民家の居間（模型）



防空壕の模型



2階（展示室A）→1階（展示室B・特別展示室）→3階（展示室C等）の順でご観覧ください。



「刻の庭」
（大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場）



この鳥は、大阪国際平和センターのキャラクターです。

■交通案内



・JR環状線・地下鉄森ノ宮駅下車 西へ徒歩約400m ・駐車場はありません。

財団法人 大阪国際平和センター

〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号
TEL.06-6947-7208 FAX.06-6943-6080
ホームページ <http://mic.e-osaka.ne.jp/peace/>

■入館料

	個人	団体（20人以上）
小・中学生	無	料
高校生	150円	100円
大人	250円	200円

●65歳以上・障害者の方は無料です。（証明する手帳等が必要となります。）

■閉館時間

●午前9時30分～午後5時 入館は、午後4時30分までです。

■休館日

- 月曜日
- 国民の祝日の翌日
- 年末・年始
- 館内整理日（毎月月末）

ただし、祝日の翌日および月末が日曜日にあたるときは、その翌々日の火曜日になります。

展示室B 15年戦争



満州事変から第二次世界大戦終結まであしかけ15年にわたるアジア・太平洋地域を中心とした戦争の実相を示すとともに、広島・長崎に投下された原爆の恐ろしさや、アウシュヴィッツに見られる戦争の非人間性なども取りあげています。



アウシュヴィッツコーナー



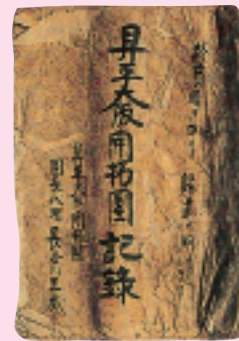
さびついで銃身だけになった三八式歩兵銃と鉄カブト



連日、戦勝を報じた新聞



満州への夢をかきたてる旅行案内パンフレット



昇平大阪開拓団記録



創氏名鑑



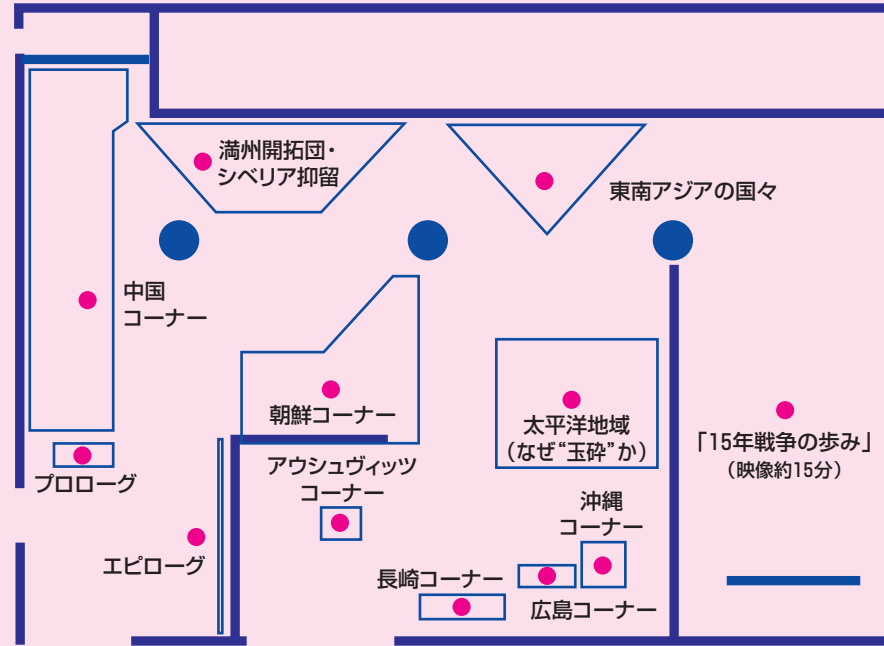
戦費調達のからくりの役割を果たした朝鮮銀行券



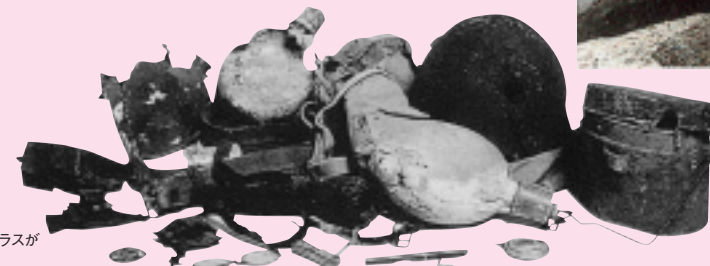
戦陣訓



波嘉敷島の海岸線に転がっていたアメリカ海軍の砲弾の残骸



数十枚の板ガラスが原爆により一瞬に溶解して化石ようになった



ニューギニアなどで収集された日本軍兵士の遺留品

2階(展示室A)→1階(展示室B・特別展示室)→3階(展示室C等)の順でご覧ください。

展示室C 平和の希求

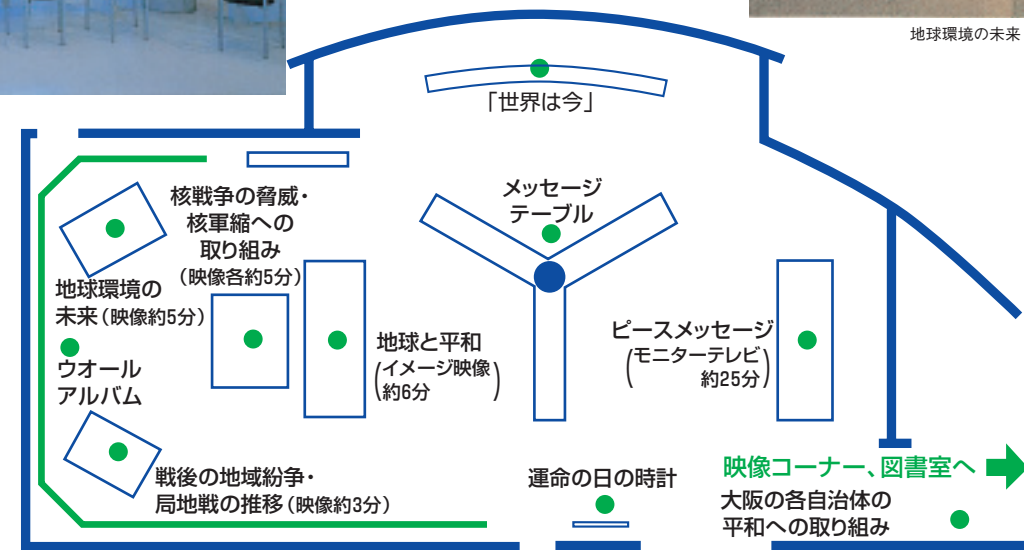


核戦争の危機を示すシンボル「運命の日の時計」



地球環境の未来

人々は平和を求めます。しかし、第二次世界大戦後も核の脅威はいまだ去らず、さらに、民族、宗教、イデオロギーなどをめぐり紛争と戦火は絶えません。加えて、飢餓、貧困、地球環境の悪化が平和を脅かしています。この地球のかけがえのなさ、生命と人権の尊さを問いつづけることにより、平和について考えていかなければなりません。



●展示は予告なく変更することがあります。



映像コーナー
戦時中のニュース映画、戦争と平和に関する証言、ドキュメンタリー、劇映画、アニメーションなどをDVD、レーザーディスク、ビデオ、カセットテープによって視聴できるブースを9ブース設置。



図書室
戦争と平和に関する図書を収蔵。

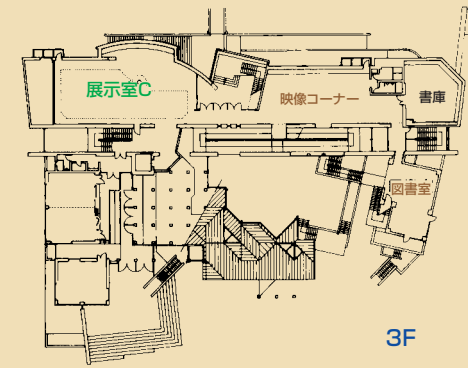


講堂
定時映画「十六地蔵物語」「火の海・大阪」「焼きつされた大阪の街」を上映しています。

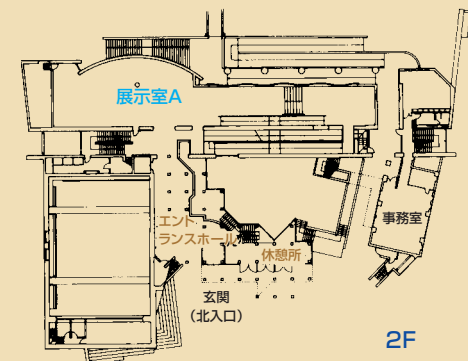
あなたのピースメッセージをお寄せください。
※資料収集にご協力ください。



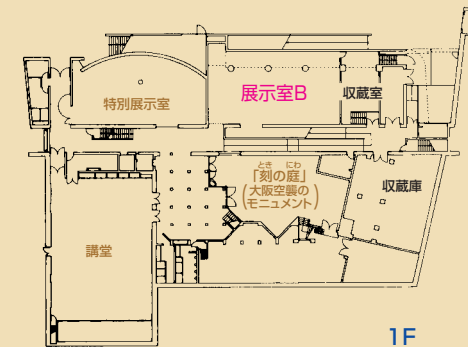
1945年の母子像(栗津 潔 作)
戦禍の中を逃げまどう母と子のイメージを基本に作成し、平和を祈念するとともに、15年戦争で犠牲になった人々を追悼するものです。



3F



2F



1F

